

論文作成の手引き

改訂版

平成29年4月1日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科
Graduate School of Health Sciences
Sapporo Medical University

目 次

I 博士論文作成の手引き

博士論文作成フローチャート

第一章 入学から研究計画書作成前まで

<u>フローチャート</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1 教育研究分野希望届・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 教育研究分野変更願・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3 授業科目履修届・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4 既修得単位認定申請書・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5 研究指導計画書・・・・・・・・・・・・・・・・	2
6 副指導教員の選考・・・・・・・・・・・・・・・・	2
7 指導教員の変更・・・・・・・・・・・・・・・・	2

第二章 研究計画書作成から提出まで

<u>フローチャート</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	3
1 研究計画書作成要領・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2 提出手続き・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3 博士論文研究計画書一式・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4 提出部数・・・・・・・・・・・・・・・・	4

第三章 研究計画書審査

<u>フローチャート</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	5
1 審査委員会の設置と審査委員の選出・・・・・・・・	5
2 審査委員会・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3 博士論文研究計画書審査結果報告・・・・・・・・	6
4 札幌医科大学倫理委員会・IRB（臨床研究審査委員会）・動物実験委員会の承認	6
5 付記・・・・・・・・・・・・・・・・	7

第四章 博士論文作成から提出まで

<u>フローチャート</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・	8
1 博士論文作成要領・・・・・・・・・・・・・・・・	8
2 博士論文提出資格・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3 提出手続き・・・・・・・・・・・・・・・・	8
4 博士論文一式・・・・・・・・・・・・・・・・	9
5 提出部数・・・・・・・・・・・・・・・・	9
6 短縮修了要件・・・・・・・・・・・・・・・・	9
7 付記・・・・・・・・・・・・・・・・	9

第五章 博士論文審査

<u>フローチャート</u>	10
1 審査委員会の設置と審査委員の選出	10
2 博士論文審査委員会	11
3 博士論文審査終了報告および審査結果報告	11
4 博士論文の公表	11

第六章 博士論文のインターネット公表について

<u>フローチャート</u>	12
1 博士論文のインターネット公表について	12
2 博士の学位審査とインターネット公表手続き	13

II 修士論文作成の手引き

修士論文作成フローチャート

第一章 入学から研究計画書作成前まで

<u>フローチャート</u>	17
1 教育研究分野希望届	17
2 教育研究分野変更願	17
3 授業科目履修届	18
4 既修得単位認定申請書	18
5 副指導教員の選考	18
6 指導教員の変更	18

第二章 研究計画書作成から提出まで

<u>フローチャート</u>	19
1 研究計画書作成要領	19
2 修士論文研究計画書提出資格	20
3 提出手続き	20
4 修士論文研究計画書一式	20
5 提出部数	20

第三章 研究計画書審査

<u>フローチャート</u>	21
1 審査委員会の設置と審査委員の選出	21
2 審査委員会	21
3 修士論文研究計画書審査結果報告	22
4 札幌医科大学倫理委員会・IRB（臨床研究審査委員会）・動物実験委員会の承認	22
5 付記	23

第四章 修士論文作成から提出まで

フローチャート	24
1 修士論文作成要領	24
2 修士論文提出資格	24
3 提出手続き	24
4 修士論文一式	24
5 提出部数	25
6 短縮修了要件	25
7 付記	25

第五章 修士論文審査

フローチャート	26
1 審査委員会の設置と審査委員の選出	26
2 修士論文審査委員会	26
3 修士論文審査終了報告および審査結果報告	27
4 修士論文の要旨等の公表	27

Ⅲ 様式集

第一章 入学から研究計画書作成前まで

教育研究分野希望届 [様式 1-1]	31
教育研究分野変更願 [様式 1-2]	32
授業科目履修届 [様式 1-3]	33
既修得単位認定申請書 [様式 1-4]	34
研究指導計画書 [様式 1-5]	35
副指導教員選考申請書 [様式 1-6]	36
指導教員変更願・指導教員変更事項届出書 [様式 1-7]	37

第二章 研究計画書作成から提出まで

博士論文・修士論文研究計画書審査願 [様式 2-1]	38
研究施設承諾書 (見本) [様式 2-2]	39
研究協力同意書 (見本) [様式 2-3]	40

第三章 研究計画書審査

博士論文・修士論文研究計画書審査結果報告書 [様式 3-1]	41
博士論文・修士論文研究計画書修正報告書 [様式 3-2]	42
博士論文・修士論文研究計画書判定結果 [様式 3-3]	43

第四章 論文作成から提出まで

博士論文・修士論文審査願 [様式4-1]	44
論文目録 [様式4-2]	45
博士論文・修士論文論文の内容の要旨 [様式4-3]	46
履歴書 [様式4-4]	47

第五章 論文審査

・履歴書(学外審査委員用) [様式5-1]	48
・博士論文・修士論文審査終了報告書 [様式5-2]	49
・博士論文・修士論文審査の要旨及び担当者[様式5-3]	50
・博士論文・修士論文 修正報告書[様式5-4]	51

第六章 博士論文のインターネット公表について

・博士論文のインターネット公表確認書 [様式6-1]	52
・博士の学位に係る論文の全文公表に係る理由申出書 [様式6-2]	53
・博士論文公表願 [様式6-3]	54
・博士論文公表用表紙 [様式6-4]	55

保健医療学研究科提出論文・研究計画書チェックリスト[様式7]	56
--	----

保健医療学研究科 論文審査基準	57
---------------------------	----

札幌医科大学大学院保健医療学研究科学位論文記載要領	58
-------------------------------------	----

I 博士論文作成の手引き

博士論文作成フローチャート

月	博士論文作成作業
4月	<p>【D2・D3・過年度生】 「博士論文研究計画書」の提出 随時</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 提出部数 14部(以下同じ)</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 「博士論文研究計画書審査委員会」は審査委員決定後4週間以内に開催する</p> <p>【D1】 「教育研究分野希望届」の提出 4月最終金曜締め切り</p> <p>【全大学院学生】 「授業科目履修届」の提出 4月最終金曜締め切り</p> <p>【全大学院学生】 「研究指導計画書」の提出 4月最終金曜締め切り</p>
5月	
6月	<p>【D1】 「博士論文研究計画書」の提出 6月以降随時</p> <p>【9月修了予定者】 「博士論文」の提出 6月第4金曜締め切り</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 提出部数 14部</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 「博士論文審査委員会」は審査委員決定後4週間以内に開催する</p>
7月	
8月	【9月修了予定者】 「博士論文」の修正 第4水曜締め切り
9月	
10月	【全大学院学生】 「授業科目履修届」の提出 第2水曜締め切り
11月	<p>【3月修了予定者】 「博士論文」の提出 第2水曜締め切り</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 提出部数 14部</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 「博士論文審査委員会」は審査委員決定後4週間以内に開催する</p>
12月	
1月	
2月	【3月修了予定者】 「博士論文」の修正 第2水曜締め切り
3月	【修了者】 「修了式」で学位の授与

D1 : 博士課程後期1年目 D2 : 博士課程後期2年目 D3 : 博士課程後期3年目 過年度生 : 博士課程後期4年目以上

※締切日が休日・祝日の場合は、前日の平日を締切日とする。

第一章 入学から研究計画書作成前まで

フローチャート

1 入 学



2 各種届出の提出

(1) 「教育研究分野希望届」(様式1-1) 入学年4月最終金曜日まで

※ 教育研究分野の変更を希望する場合は、「教育研究分野変更願」(様式1-2)を提出すること。

(2) 「授業科目履修届」(様式1-3) 前期: 毎年4月最終金曜日まで
後期: 毎年10月第2金曜日まで

(3) 「既修得単位認定申請書」(様式1-4) 入学年4月最終金曜日まで
※ 該当者のみ提出すること。



3 研究指導計画書の提出

「研究指導計画書」(様式1-5) 毎年4月最終金曜日まで

4 副指導教員の選考

「副指導教員選考申請書」(様式1-6)を提出すること。

1 教育研究分野希望届

大学院の教育は授業および博士論文の作成などに対する研究指導(以下「研究指導」)によって行われる。本研究科では教育研究分野の研究指導を行うため、大学院学生ごとに主任指導教員を定める(主任指導教員は研究科委員会の議を経て保健医療学研究科長が指名する。)。このため、大学院学生は教育研究分野に応じた主任指導教員を選考し、「教育研究分野希望届」(様式1-1)を所定の期日までに学務課主査(大学院)に提出しなければならない。通常は入学願書提出時に指定した教育研究分野となるが、入学願書提出時に指定した教育研究分野と異なる分野を希望する場合には、当初の主任指導教員ならびに新主任指導教員と合意の上で「教育研究分野希望届」(様式1-1)を学務課主査(大学院)に提出しなければならない。

2 教育研究分野変更願

一旦提出した教育研究分野と異なる分野を希望する場合は、現主任指導教員、新主任指導教員ならびに専攻代表と合意の上で、「教育研究分野変更願」(様式1-2)を学務課主査(大学院)に提出しなければならない。

3 授業科目履修届

大学院学生は希望する教育研究分野で博士論文を作成するにあたり、履修が必要な授業科目について履修基準に定める単位数を修得しなければならない。このため、大学院学生は「授業科目履修届」（様式1-3）を所定の期日までに学務課主査（大学院）に提出しなければならない。

4 既修得単位認定申請書

本学大学院及び他の大学院において修得した単位を本学の修得単位として認定を希望する場合は、「既修得単位認定申請書」（様式1-4）を所定の期日までに学務課主査（大学院）に提出しなければならない。申請書の提出後、研究科委員会の議を経て10単位を限度として認定することができる。

5 研究指導計画書

大学院学生の研究計画を着実に推進するため、指導教員が大学院学生と相談の上、「研究指導計画書」（様式1-5）を作成し、所定の期日までに学務課主査（大学院）に提出しなければならない。

6 副指導教員の選考

- (1) 博士論文作成のため、主任指導教員の指導を補強および補佐する副指導教員を必要に応じて学内から選考することができる。副指導教員は、必要に応じて、随時、学内から選考することができる。
- (2) 副指導教員の選考は、主任指導教員と大学院学生が協議の上、「副指導教員選考申請書」（様式1-6）を学務課主査（大学院）に提出し、研究科委員会で承認されなければならない。
- (3) 副指導教員は大学院教員資格審査委員会の審査で承認された者とする。

7 指導教員の変更

指導教員に変更が生じた場合は、専攻代表が学務課主査（大学院）に「指導教員変更願・指導教員変更事項届出書」（様式1-7）を提出し、研究科委員会で承認されなければならない。

第二章 研究計画書作成から提出まで

フローチャート

1 博士論文研究計画書作成



2 博士論文研究計画書提出

提出期限・・・D1：6月以降の各月の第2・第4水曜日を締切とする。

・・・D2、D3、過年度生：各月の第2・第4水曜日を締切とする。

1 研究計画書作成要領

(1) 博士論文研究計画書の作成および提出は、研究目的が適切であるか、提案された研究方法に基づいてデータ収集の開始が可能かを審査することを目的とするものである。

(2) 「博士論文研究計画書」には、次の内容が含まれていなければならない（枚数の制限はない）。①～⑯は必須であり、⑰・⑱は必要時併せて提出すること。

- ① 表題
- ② 所属と研究者名
- ③ はじめに
- ④ 研究目的／課題／仮説（等）
- ⑤ 研究の意義
- ⑥ キーワード（5個以内）
- ⑦ 用語の定義
- ⑧ 先行研究／文献概観／文献検討
- ⑨ 研究方法／研究デザインの種類
- ⑩ 研究対象と選定基準
- ⑪ データ収集の方法／用具
- ⑫ 使用する方法の妥当性と信頼性
- ⑬ データ分析／解析方法
- ⑭ 倫理的配慮
- ⑮ 研究の限界
- ⑯ 引用・参考文献一覧
- ⑰ 学外研究施設承諾書
- ⑱ 研究協力者・被験者の同意書に関わる方法と様式
- ⑲ その他必要な書類

(3) 「博士論文研究計画書」は、57頁の記載要領を参照の上、体裁を整え、表紙および目次を付ける。

2 提出手続き

- (1) 研究計画書の提出にあたっては「提出論文・研究計画書チェックリスト」（様式7）により体裁を確認する。
- (2) 「提出論文・研究計画書チェックリスト」（様式7）、「博士論文研究計画書審査願」（様式2-1）と博士論文研究計画書一式を合わせて、所定の期日までに学務課主査（大学院）に提出する。
- (3) 「博士論文研究計画書審査願」（様式2-1）には主任指導教員および副指導教員の署名捺印が必要である。

3 博士論文研究計画書一式

博士論文研究計画書一式は次の順とし、左上1ヶ所をダブルクリップで留める。

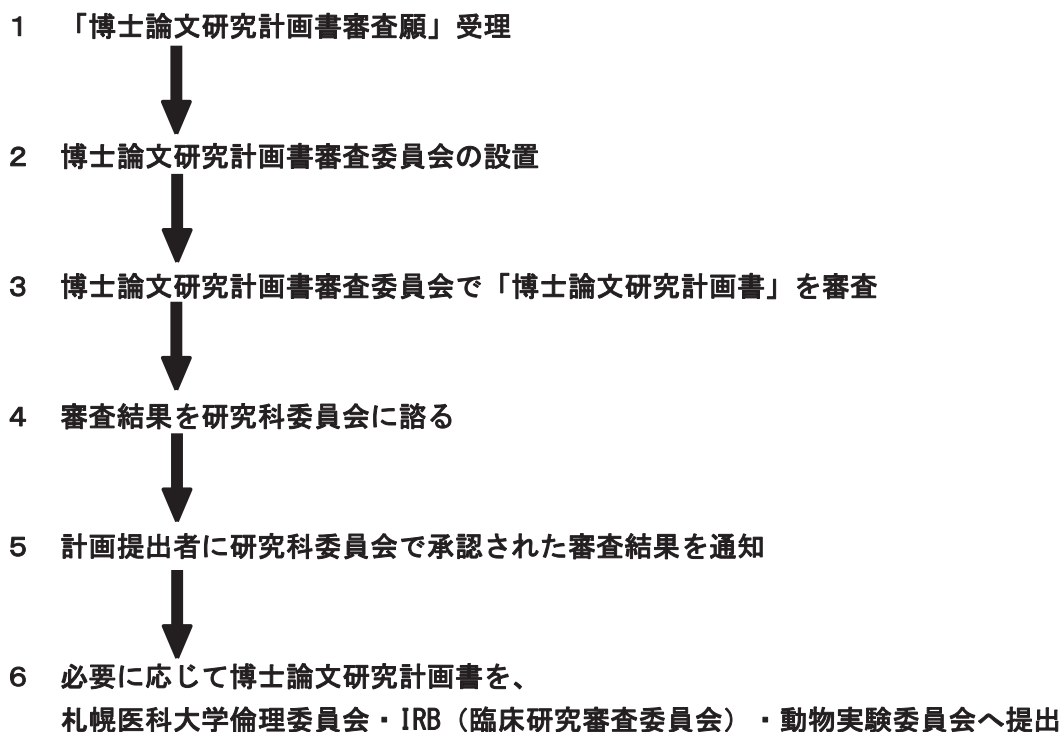
- (1) 表紙
- (2) 目次
- (3) 博士論文研究計画書
- (4) 研究施設承諾書（様式2-2）
- (5) 研究協力同意書（様式2-3）

4 提出部数

- (1) 「博士論文研究計画書審査願」（様式2-1）・・・ 1部
- (2) 「提出論文・研究計画書チェックリスト」（様式7）・・・ 1部
- (3) 上記3 博士論文研究計画書一式・・・ 14部
（原本1部・コピー13部。
但し、カラーの場合、コピー13部のうち3部をカラーコピーとする。）

第三章 研究計画書審査

フローチャート



1 審査委員会の設置と審査委員の選出

- (1) 審査委員は保健医療学研究科の教授から3名とする。
- (2) 審査委員会に主査1名、副主査2名を置く。
- (3) 審査委員の選出は、運営会議の議を経て研究科委員会で決定する。
 - ①研究科運営会議および研究科委員会で審査委員候補者4名以上を選出する。
 - ②研究科委員会で上記①の中から投票により審査委員3名および次点を決定する。
- (4) 審査委員3名の互選により、主査1名を選任する。
- (5) 主任指導教員は審査委員会の開催日程を調整する。
- (6) 審査委員決定後4週間以内に審査委員会を開催する。

2 審査委員会

- (1) 博士論文研究計画書審査委員会の開催は、開催日の1週間程度前に、学務課主査（大学院）を通じて学内に周知する。
- (2) 博士論文研究計画書審査委員会は、研究科委員会が主催する。
- (3) 博士論文研究計画書審査委員会は、計画書の内容説明と質疑応答を中心に行い、大学院学生が質疑に答えられるだけの十分な時間を設定する。
- (4) 博士論文研究計画書審査委員会は公開とする。

3 博士論文研究計画書審査結果報告

博士論文研究計画書審査結果報告は、博士論文研究計画書審査委員会での評価票を基に主査が行う。

(1) 合格の場合

【修正がない場合】

- ①主査は「博士論文研究計画書」の審査結果について博士論文研究計画書が受理された研究科委員会から3か月以内に「博士論文研究計画審査結果報告書」（様式3-1）を学務課主査（大学院）へ提出することにより研究科長への報告とする。
- ②研究科長は審査結果を研究科委員会に諮る。
- ③学務課主査（大学院）は計画書提出者に「博士論文研究計画書判定結果」（様式3-3）により研究科委員会で承認された審査結果を通知する。

【修正がある場合】

- ①主任指導教員は審査会で指摘された修正事項に従い大学院学生に修正の指導を行う。
- ②主査は副主査に修正の確認を得る。
- ③主査は「博士論文研究計画書」の審査結果について、博士論文研究計画書が受理された研究科委員会から3か月以内に、研究科委員会に報告する。その際は、「博士論文研究計画 審査結果報告書」（様式3-1）を学務課主査（大学院）へ提出することにより研究科長への報告とする。
※主査はコメント欄に修正の理由を明確に記載する。
- ④同時に大学院学生は博士論文研究計画書審査委員会開催後3か月以内に修正した「博士論文研究計画書」を1部、修正部分がわかるように網掛けした「博士論文研究計画書」および「研究計画書修正報告書」（様式3-2）各10部を学務課主査（大学院）に提出する。
- ⑤研究科長は審査結果を研究科委員会に諮る。
- ⑥英文に修正があった場合は再度ネイティブチェックを受け、証明書を添付する。
- ⑦学務課主査（大学院）は計画書提出者に「博士論文研究計画書判定結果」（様式3-3）により研究科委員会で承認された審査結果を通知する。

(2) 不合格の場合

- ①主査は「博士論文研究計画書」の審査結果について、すみやかに「博士論文研究計画審査結果報告書」（様式3-1）を学務課主査（大学院）へ提出することにより研究科長への報告とする。
※主査はコメント欄に不合格の理由を明確に記載する。
- ②研究科長は審査結果を研究科委員会に諮る。
- ③学務課主査（大学院）は計画書提出者に「博士論文研究計画書判定結果」（様式3-3）により研究科委員会で承認された審査結果を通知する。

4 札幌医科大学倫理委員会・IRB（臨床研究審査委員会）・動物実験委員会の承認

札幌医科大学倫理委員会等の承諾を必要とする博士論文研究計画書は、博士論文研究計画書が研究科委員会で承認されると共に、札幌医科大学倫理委員会・IRB（臨床研究審査委員会）・動物実験委員会等の承認を得ること。

5 付記

- (1) 提出された論文研究計画書を取り下げる場合は、保健医療学研究科長あてに、博士論文研究計画書審査取り下げ願（様式任意）を作成し、学務課主査（大学院）へ提出すること。
- (2) 提出された論文研究計画書の修正は、博士論文研究計画書審査委員会終了まで認めない。

第四章 博士論文作成から提出まで

フローチャート

1 博士論文作成



2 博士論文提出

提出期限・・・9月修了希望者：6月第4水曜まで
・・・3月修了希望者：11月第2水曜日まで

1 博士論文作成要領

博士論文は、57頁の記載要領を参照の上、体裁を整える。

2 博士論文提出資格

博士の学位の申請ができる者は、札幌医科大学学位論文審査規程第4条（大学院履修概要21頁参照）に該当する者とする。

3 提出手続き

- (1) 出版社等の著作権ポリシーを確認し「博士論文インターネット公表確認書」（様式6-1）および「博士論文公表願」（様式6-3）を記入する。
- (2) 提出にあたっては「提出論文・研究計画書チェックリスト」（様式7）により体裁を確認する。なお、英文については事前にネイティブチェックを受けること。
- (3) 「博士論文インターネット公表確認書」（様式6-1）、「博士論文公表願」（様式6-3）、「提出論文・研究計画書チェックリスト」（様式7）と共に「博士論文審査願」（様式4-1）に博士論文一式を添付し、所定の期日までに学務課主査（大学院）に提出する。
- (4) 「博士論文審査願」（様式4-1）には主任指導教員および副指導教員の署名捺印が必要である。

4 博士論文一式

博士論文一式は次の順とし、左上1ヶ所をダブルクリップで留める。

- (1) 論文目録（様式4-2）
- (2) 博士論文
 - ① 表紙
 - ② 目次
 - ③ 主文
 - ④ 図表
 - ⑤ 資料（研究施設承諾書、研究協力同意書等）
- (3) 博士論文の内容の要旨（様式4-3）
- (4) 履歴書（様式4-4）
- (5) 参考論文
- (6) 審査結果通知書の写し又は承認申請書の写し（札幌医科大学倫理委員会・IRB（臨床研究審査委員会）・動物実験委員会等）

5 提出部数

- (1) 「博士論文審査願」（様式4-1）・・・ 1部
- (2) 「博士論文のインターネット公表確認書」（様式6-1）・・・ 1部
- (3) 「博士論文公表願」（様式6-3）・・・ 1部
- (4) 「提出論文・研究計画書チェックリスト」（様式7）・・・ 1部
- (5) 上記4 博士論文一式・・・ 14部
（原本1部・コピー13部。
但し、カラーの場合、コピー13部のうち4部をカラーコピーとする。）

6 短縮修了要件

札幌医科大学大学院学則（大学院履修概要7頁）第21条第3号のただし書きによる。

7 付記

- (1) 提出された論文を取り下げる場合は、保健医療学研究科長あてに、博士論文審査取り下げ願い（様式任意）を作成し、学務課主査（大学院）へ提出すること。
- (2) 提出された論文の修正は、博士論文審査委員会終了まで認めない。

第五章 博士論文審査

フローチャート

1 「博士論文審査願（様式4-1）」



※ 「博士論文のインターネット公表確認書」（様式6-1）受理

2 博士論文審査委員会の設置



※ 学外教員・研究者を審査委員とする場合は、「履歴書（学外審査委員用）」（様式5-1）を提出すること。

3 博士論文審査委員会で博士論文を審査



4 審査結果を研究科委員会に諮る

※ 合格し、インターネット公表できないやむを得ない理由がある場合は、「博士論文審査終了報告書」（様式5-2）、「博士論文審査の要旨及び担当者」（様式5-3）、「博士論文修正報告書」（様式5-4）「博士の学位に係る論文の全文公表に係る理由申出書」（様式6-2）を研究科委員会に提出すること。

○ 受理した学位論文の審査は、原則として、当該論文を受理した日から起算して6月以内に終了するものとする（札幌医科大学学位規程第7条 大学院履修概要11頁）。

1 審査委員会の設置と審査委員の選出

- (1) 審査委員の構成を4名とし、保健医療学研究科の教授から3名以上とする。
- (2) 保健医療学研究科以外から審査対象論文の専門分野に精通する大学教授職に相当する者（主任指導教員審査に準ずる）を必要に応じて1名入れることができる。
- (3) 審査委員4名のうち、1名は主任指導教員又は副指導教員とすることができる。
- (4) 審査委員の選出は、運営会議の議を経て研究科委員会で決定する。
 - ① 研究科運営会議および研究科委員会で数名の候補者を選出し、研究科委員会において投票により審査委員4名および次点を決定する。複数名いた場合は研究科長が指名する。
 - ② 学外の候補者にあつては、「履歴書（学外審査委員用）」（様式5-1）を提出する。
 - ③ 主査は、審査委員会を統括し、審査委員会の議を経て、論文審査の方法を定め論文審査の要旨等を研究科委員会に報告するものとし、副主査は、主査を補佐する。
- (5) 審査委員4名の互選により、主査1名を選任する。
- (6) 主任指導教員は博士論文審査委員会の開催日程を調整する。
- (7) 審査委員決定後4週間以内に博士論文審査委員会を開催する。

2 博士論文審査委員会

- (1) 博士論文審査委員会の開催は、学務課主査（大学院）を通じて学内に周知する。
- (2) 博士論文審査委員会は、論文内容および大学院学生の教育研究分野に関連する知識を審査する。
- (3) 博士論文審査委員会は、公開とする。

3 博士論文審査終了報告および審査結果報告

- (1) 主査は博士論文の審査終了および審査結果を学務課主査（大学院）に提出することにより研究科長への報告とする。

「博士論文審査終了報告書」（様式5-2）

「論文審査の要旨及び担当者」（様式5-3）

（様式5-3については、その電子データもあわせて学務課主査（大学院）へ提出）

- (2) 学位申請者が「博士論文のインターネット公表確認書」（様式6-1）において、インターネット公表できないとした場合、博士論文審査委員会は、学位論文の要約の適切性を判断し、その結果を「博士論文審査の要旨及び担当者（様式5-3）」に記載すると共に「博士の学位に係る論文の全文公表に係る理由申出書」（様式6-2）を学務課主査（大学院）へ提出することにより研究科長への報告とする。

- (3) 博士論文、博士論文の内容の要旨（様式4-3）、博士論文公表用表紙（様式6-4）のデータが入ったCD-Rを学務課主査（大学院）に提出する。なお、博士論文の中にインターネット公表に差し支える携帯電話番号等の個人情報がある場合にはマスキングする等、個人情報保護に十分配慮すること。

- (4) 博士論文に修正があった場合は、修正後の博士論文、修正部分がわかるように網掛けした博士論文、博士論文の内容の要旨（様式4-3）、論文修正報告書（様式5-4）各1部を学務課主査（大学院）に提出する。

また、英文に修正があった場合は再度ネイティブチェックを受け、証明書を添付する。

- (5) 上記を期限までに学務課主査（大学院）に提出する。

提出期限：9月修了希望者 8月第4水曜日まで

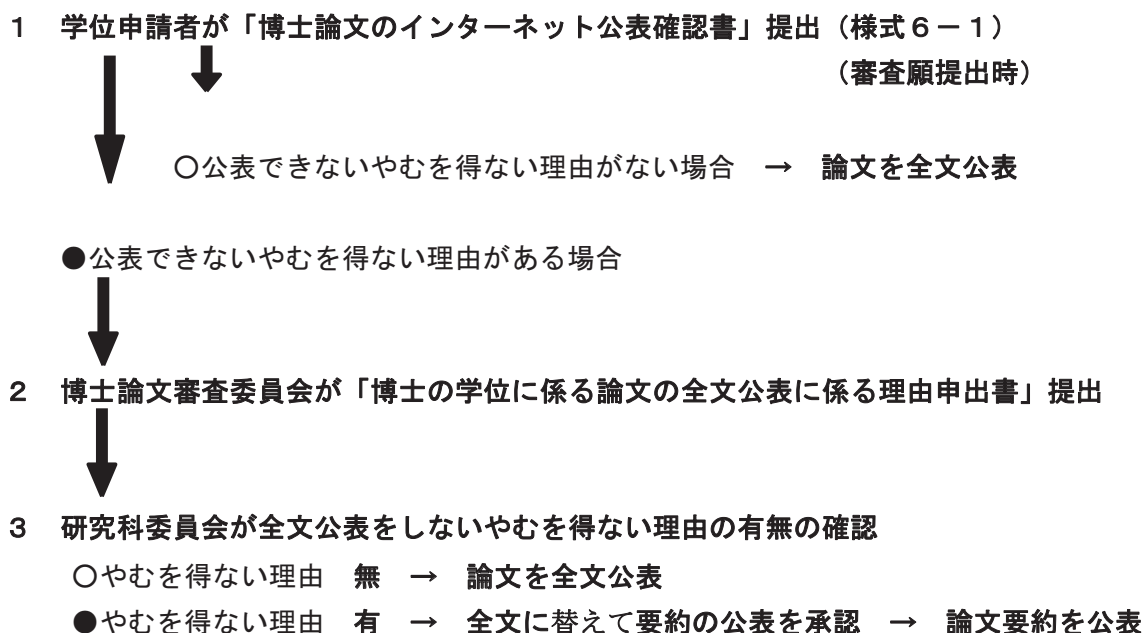
3月修了希望者 2月第2水曜日まで

4 博士論文の公表

札幌医科大学学位規程第16条（大学院履修概要13頁）による。

第六章 博士論文のインターネット公表について

フローチャート



1 博士論文のインターネット公表について

博士の学位を申請し、平成25年4月1日以後に博士の学位を授与される方（以下、「学位申請者」という。）は、論文の「インターネット＝札幌医科大学機関リポジトリ公表」が必要である。

学位申請者は、学位を授与された日から1年以内に博士論文の全文をインターネットの利用により公表（以下「インターネット公表」という）する義務がある。

そして、札幌医科大学では、その公表方法を、「札幌医科大学学術機関リポジトリ」掲載することとする。

ただし、博士論文の全文が公表できない「やむを得ない理由」がある場合には、研究科委員会の承認を得た場合に、全文に替えてその内容の要約をインターネット公表することができる。

なお、要約の公表が認められても、「やむを得ない理由」が無くなった場合には、全文をインターネット公表しなければならない。

また、要約の公表中においては、求めに応じて博士論文の全文を研究科委員会において閲覧させる場合がある。

2 博士の学位審査とインターネット公表手続き

学位論文審査手続き	「インターネット公表」に係る手続き
<p>「博士論文審査願」と書類一式を提出</p> <ul style="list-style-type: none"> 博士論文 論文目録 博士論文の要旨（様式4-3） 履歴書 参考論文 審査結果通知書の写し又は承認申請書の写し (札幌医科大学倫理委員会・IRB・動物実験委員会等) 	<p>①学位申請者が、公表の可否（条件付き含む）を記載した「博士論文のインターネット公表確認書」（様式6-1）を提出 ※出版社等の著作権ポリシーを学位申請者本人が確認する。</p> <p>②上記公表確認書において、全文公表不可（1年以上の全文公表が不可）とした場合は、「学位論文の要約」を提出</p>
<p>研究科委員会が審査願を受理、 博士論文審査委員会を設置</p>	
<p>論文審査委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 博士論文の可否 全文公表をしないやむを得ない理由の有無の確認 	<p>③「やむを得ない理由」があるとき 「博士の学位に係る論文の全文公表に係る理由申出書」（様式6-2）を論文審査委員会が研究科長に提出。</p>
<p>研究科委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> 博士論文の合格を承認 	<p>④研究科委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> やむを得ない理由がある場合、全文に替えて要約の公表を承認
<p>学位授与</p>	<p>学術誌等への掲載手続き</p>
<p>博士論文の内容の要旨と審査結果の要旨を札幌医科大学学術機関リポジトリで公表する（学位授与から3月以内）</p>	<p>⑤博士論文の全文又は要約を札幌医科大学学術機関リポジトリに登載して公表（やむを得ない理由がある場合は、解消後、速やかに全文をインターネット公表）</p> <p>⑥博士論文の要約の公表中、全文の閲覧の求めがあった場合は、研究科委員会は全文を閲覧させる。</p> <p>⑦全文（要約）公表～学位申請者は、次の書類等を提出（細則第8条第2項）</p> <ul style="list-style-type: none"> 博士論文公表願（様式6-3）（別記第15号様式） 博士論文公表用表紙（様式6-4）（別記第16号様式）及びその電子データ 博士論文全文（要約）データ（PDF形式）

Ⅱ 修士論文作成の手引き

修士論文作成フローチャート

月	修士論文作成作業	
4月	【M2・過年度生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り ※ 提出部数 12部(以下同じ) ※ 「修士論文研究計画書審査委員会」は審査委員決定後4週間以内に開催する 【M1】 「教育研究分野希望届」の提出 最終金曜締め切り 【全大学院学生】 「授業科目履修届」の提出 最終金曜締め切り 【全大学院学生】 「研究指導計画書」の提出 最終金曜締め切り	
5月	【M2・過年度生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り	
6月	【9月修了予定者】 「修士論文」の提出 第4水曜締め切り ※ 提出部数 12部 ※ 「修士論文審査委員会」は審査委員決定後4週間以内に開催する 【M2・過年度生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り	
7月	【M2・過年度生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り	
8月	【9月修了予定者】 「修士論文」の修正 第4水曜締め切り 【M2・過年度生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り	
9月	【M2・過年度生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り	
10月	【全大学院学生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り 【全大学院学生】 「授業科目履修届」の提出 第2水曜締め切り	
11月	【全大学院学生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り	
12月	【3月修了予定者】 「修士論文」の提出 第3水曜締め切り ※ 提出部数 12部 ※ 「修士論文審査委員会」は審査委員決定後4週間以内に開催する 【全大学院学生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り	
1月	【全大学院学生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り	
2月	【全大学院学生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り 【3月修了予定者】 「修士論文」の修正 第2水曜締め切り	
3月	【全大学院学生】 「修士論文研究計画書」の提出 第2・第4水曜締め切り 【修了者】 「修了式」で学位の授与	

M1：博士課程前期1年目 M2：博士課程前期2年目 過年度生：博士課程前期3年目以上

※締切日が休日・祝日の場合は、前日の平日を締切日とする。

第一章 入学から研究計画書作成前まで

フローチャート

1 入学



2 各種届出の提出

- (1) 「教育研究分野希望届」(様式1-1) 入学年4月最終金曜日まで
※ 教育研究分野の変更を希望する場合は、「教育研究分野変更願」(様式1-2)を提出すること。
- (2) 「授業科目履修届」(様式1-3) 前期: 毎年4月最終金曜日まで
後期: 毎年10月第2金曜日まで
- (3) 「既修得単位認定申請書」(様式1-4) 入学年4月最終金曜日まで
※ 該当者のみ提出すること。



3 研究指導計画書の提出

「研究指導計画書」(様式1-5) 毎年4月最終金曜日まで

4 副指導教員の選考

「副指導教員選考申請書」(様式1-6)を提出すること。

1 教育研究分野希望届

大学院の教育は授業および修士論文の作成などに対する研究指導(以下「研究指導」)によって行われる。本研究科では教育研究分野の研究指導を行うため、大学院学生ごとに主任指導教員を定める(主任指導教員は研究科委員会の議を経て保健医療学研究科長が指名する)。

このため、大学院学生は教育研究分野に応じた主任指導教員を選考し、「教育研究分野希望届」(様式1-1)を所定の期日までに学務課主査(大学院)に提出しなければならない。通常は入学願書提出時に指定した教育研究分野となるが、入学願書提出時に指定した教育研究分野と異なる分野を希望する場合には、当初の主任指導教員ならびに新主任指導教員と合意の上で「教育研究分野希望届」(様式1-1)を学務課主査(大学院)に提出しなければならない。

2 教育研究分野変更願

一旦提出した教育研究分野と異なる分野を希望する場合は、現主任指導教員、新主任指導教員ならびに専攻代表と合意の上で、「教育研究分野変更願」(様式1-2)を学務課主査(大学院)に提出しなければならない。

3 授業科目履修届

大学院学生は希望する教育研究分野で修士論文を作成するにあたり、履修が必要な授業科目について履修基準に定める単位数を修得しなければならない。このため、大学院学生は「授業科目履修届」（様式1-3）を所定の期日までに学務課主査（大学院）に提出しなければならない。1学年前期には、修士論文研究計画書提出要件となる各専攻の研究法特論を履修する。

4 既修得単位認定申請書

本学大学院及び他の大学院において修得した単位を本学の修得単位として認定を希望する場合は、「既修得単位認定申請書」（様式1-4）を所定の期日までに学務課主査（大学院）に提出しなければならない。申請書の提出後、研究科委員会の議を経て10単位を限度として認定することができる。

5 副指導教員の選考

- (1) 修士論文作成のため、主任指導教員の指導を補強および補佐する副指導教員を必要に応じて学内から選考することができる。
- (2) 副指導教員の選考は、主任指導教員と大学院学生が協議の上、「副指導教員選考申請書」（様式1-6）を学務課主査（大学院）に提出し、研究科委員会で承認されなければならない。
- (3) 副指導教員は大学院教員資格審査委員会の審査で承認された者とする。

6 指導教員の変更

指導教員に変更が生じた場合は、専攻代表が学務課主査（大学院）に「指導教員変更願・指導教員変更事項届出書」（様式1-7）を提出し、研究科委員会で承認されなければならない。

第二章 研究計画書作成から提出まで

フローチャート

1 修士論文研究計画書作成



2 修士論文研究計画書提出

提出期限・・・M1：10月以降随時。ただし、各月の第2・第4水曜日を締切とする。
・・・M2、過年度生：随時。ただし、各月の第2・第4水曜日を締切とする。

1 研究計画書作成要領

(1) 修士論文研究計画書の作成および提出は、研究目的が適切であるか、提案された研究方法に基づいてデータ収集の開始が可能かを審査することを目的とするものである。

(2) 「修士論文研究計画書」には、次の内容が含まれていなければならない（枚数の制限はない）。①～⑯は必須であり、⑰・⑱は必要時併せて提出すること。

- ① 表題
- ② 所属と研究者名
- ③ はじめに
- ④ 研究目的／課題／仮説（等）
- ⑤ 研究の意義
- ⑥ キーワード（5個以内）
- ⑦ 用語の定義
- ⑧ 先行研究／文献概観／文献検討
- ⑨ 研究方法／研究デザインの種類
- ⑩ 研究対象と選定基準
- ⑪ データ収集の方法／用具
- ⑫ 使用する方法の妥当性と信頼性
- ⑬ データ分析／解析方法
- ⑭ 倫理的配慮
- ⑮ 研究の限界
- ⑯ 引用・参考文献一覧
- ⑰ 学外研究施設承諾書
- ⑱ 研究協力者・被験者の同意書に関わる方法と様式
- ⑲ その他必要な書類

(3) 「修士論文研究計画書」には、57頁の記載要領を参照の上、表紙および目次を付ける。

2 修士論文研究計画書提出資格

- (1) 博士課程前期（看護学専攻・修士論文コース）において「看護学研究法特論」を履修済みまたは単位取得見込みの者
- (2) 博士課程前期（理学療法学・作業療法学専攻）において「理学療法学研究法特論」もしくは「作業療法学研究法特論」を履修済みまたは単位取得見込みの者

3 提出手続き

- (1) 研究計画書の提出にあたっては「提出論文・研究計画書チェックリスト」（様式7）により体裁を確認する。
- (2) 「提出論文・研究計画書チェックリスト」（様式7）、「修士論文研究計画書審査願」（様式2-1）と修士論文研究計画書一式を合わせて、所定の期日までに学務課主査（大学院）に提出する。
- (3) 「修士論文研究計画書審査願」（様式2-1）には主任指導教員および副指導教員の署名捺印が必要である。

4 修士論文研究計画書一式

修士論文研究計画書一式は次の順とし、左上1ヶ所をダブルクリップで留める。

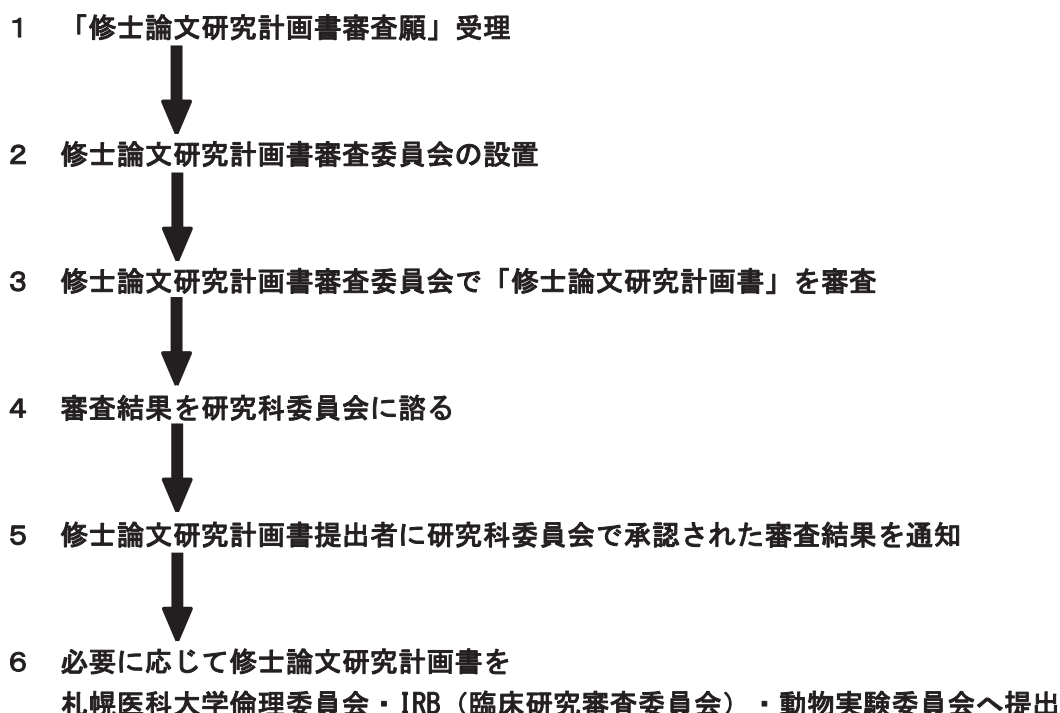
- (1) 表紙
- (2) 目次
- (3) 修士論文研究計画書
- (4) 研究施設承諾書（様式2-2）
- (5) 研究協力同意書（様式2-3）

5 提出部数

- (1) 「修士論文研究計画書審査願」（様式2-1）・・・ 1部
- (2) 「提出論文・研究計画書チェックリスト」（様式7）・・・ 1部
- (3) 上記4 修士論文研究計画書一式・・・ 12部
(原本1部・コピー12部。
但し、カラーの場合、コピー12部のうち3部をカラーコピーとする。)

第三章 研究計画書審査

フローチャート



1 審査委員会の設置と審査委員の選出

- (1) 審査委員は、保健医療学研究科の教授・准教授から3名とする。但し、委員3名のうち2名以上を教授とし、准教授は1名以内とする。
- (2) 審査委員の選出は、運営会議の議を経て研究科委員会で決定する。
 - ①研究科運営会議および研究科委員会で審査委員候補者4名以上を選出する。
 - ②研究科委員会で上記①の中から投票により審査委員3名および次点を選出する。
- (3) 審査委員3名の互選により、主査1名を選任する。
- (4) 主任指導教員は審査委員会の開催日程を調整する。
- (5) 審査委員決定後4週間以内に審査委員会を開催する。

2 審査委員会

- (1) 修士論文研究計画書審査委員会の開催は、学務課主査（大学院）を通じて学内に周知する。
- (2) 修士論文研究計画書審査委員会は、研究科委員会が主催する。
- (3) 修士論文研究計画書審査委員会は、計画書の内容説明と質疑応答を中心に行い、大学院学生が質疑に答えられるだけの十分な時間を設定する。
- (4) 修士論文研究計画書審査委員会は公開とする。

3 修士論文研究計画書審査結果報告

修士論文研究計画書審査結果報告は、修士論文研究計画書審査委員会での評価票を基に主査が行う。

(1) 合格の場合

【修正がない場合】

- ①主査は「修士論文研究計画書」の審査結果について修士論文研究計画書が受理された研究科委員会から3か月以内に「修士論文研究計画審査結果報告書」（様式3-1）を学務課主査（大学院）へ提出することにより研究科長への報告とする。
- ②研究科長は審査結果を研究科委員会に諮る。
- ③学務課主査（大学院）は計画書提出者に「修士論文研究計画書判定結果」（様式3-3）により研究科委員会で承認された審査結果を通知する。

【修正がある場合】

- ①主任指導教員は審査会で指摘された修正事項に従い大学院学生に修正の指導を行う。
- ②主査は副主査に修正の確認を得る。
- ③主査は「修士論文研究計画書」の審査結果について、修士論文研究計画書が受理された研究科委員会から3か月以内に研究科委員会に報告する。その際、「修士論文研究計画審査結果報告書」（様式3-1）を学務課主査（大学院）へ提出することにより研究科長への報告とする。
※主査はコメント欄に修正の理由を明確に記載する。
- ④同時に大学院学生は修士論文研究計画書審査委員会開催後3か月以内に修正した「修士論文研究計画書」を1部、修正部分が見えるように網掛けした「修士論文研究計画書」および「研究計画書修正報告書」（様式3-2）各10部を学務課主査（大学院）に提出する。
- ⑤研究科長は審査結果を研究科委員会に諮る。
- ⑥学務課主査（大学院）は計画書提出者に「修士論文研究計画書判定結果」（様式3-3）により研究科委員会で承認された審査結果を通知する。

(2) 不合格の場合

- ①主査は「修士論文研究計画書」の審査結果について、すみやかに「修士論文研究計画審査結果報告書」（様式3-1）を学務課主査（大学院）へ提出することにより研究科長への報告とする。
※主査はコメント欄に不合格の理由を明確に記載する。
- ②研究科長は審査結果を研究科委員会に諮る。
- ③学務課主査（大学院）は計画書提出者に「修士論文研究計画書判定結果」（様式3-3）により研究科委員会で承認された審査結果を通知する。

4 札幌医科大学倫理委員会・IRB(臨床研究審査委員会)・動物実験委員会の承認

- (1) 本学の倫理委員会等の承諾を必要とする修士論文研究計画書は、修士論文研究計画書が研究科委員会で承認されると共に札幌医科大学倫理委員会・IRB（臨床研究審査委員会）・動物実験委員会等の承認を得ること。
- (2) 専門看護師コースも同様とする。

5 付記

(1) 提出された論文研究計画書を取り下げる場合は、保健医療学研究科長あてに、修士論文研究計画書審査取り下げ願（様式任意）を作成し、学務課主査（大学院）へ提出すること。

(2) 提出された論文研究計画書の修正は、修士論文研究計画書審査委員会終了まで認めない。

第四章 修士論文作成から提出まで

フローチャート

1 修士論文作成



2 修士論文提出

提出期限・・・9月修了希望者：6月第4水曜日まで
・・・3月修了希望者：12月第3水曜日まで

1 修士論文作成要領

修士論文は、57頁の記載要領を参照の上、体裁を整える。

2 修士論文提出資格

修士の学位の申請ができる者は、札幌医科大学学位論文審査規程第2条（大学院履修概要21頁）に該当する者とする。

3 提出手続き

(1) 提出にあたっては「提出論文・研究計画書チェックリスト」（様式7）により体裁を確認する。

なお、英文については事前にネイティブチェックを受けること。

(2) 「提出論文・研究計画書チェックリスト」（様式7）、「修士論文審査願」（様式4-1）に修士論文一式を添付し、所定の期日までに学務課主査（大学院）に提出する。

(3) 「修士論文審査願」（様式4-1）には主任指導教員および副指導教員の署名捺印が必要である。

4 修士論文一式

修士論文一式は次の順とし、左上1ヶ所をダブルクリップで留める。

(1) 修士論文

- ① 表紙
- ② 目次
- ③ 主文
- ④ 図表
- ⑤ 資料（研究施設承諾書、研究協力同意書等）

(2) 修士論文の内容の要旨（様式4-3）

(3) 審査結果通知書の写し又は承認申請書の写し（札幌医科大学倫理委員会・IRB（臨床研究審査委員会）・動物実験委員会等）

5 提出部数

- (1) 「修士論文審査願」(様式4-1)・・・1部
- (2) 「提出論文・研究計画書チェックリスト」(様式7)・・・1部
- (3) 上記4 修士論文一式・・・12部
(原本1部・コピー12部。
但し、カラーの場合、コピー12部のうち3部をカラーコピーとする。)

6 短縮修了要件

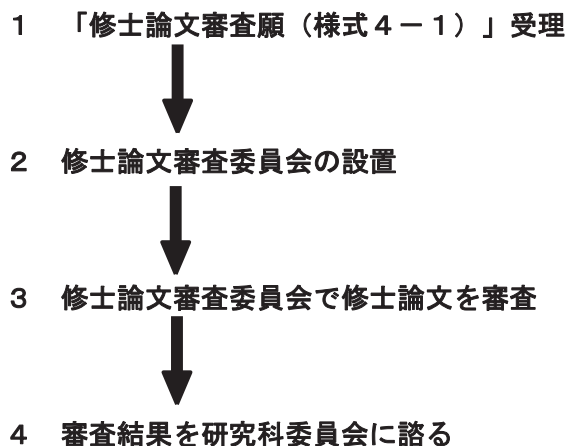
札幌医科大学大学院学則(大学院履修概要7頁)第21条第4号のただし書きによる。

7 付記

- (1) 提出された論文を取り下げる場合は、保健医療学研究科長あてに、修士論文審査取り下げ願い(様式任意)を作成し、学務課主査(大学院)へ提出すること。
- (2) 提出された論文の修正は、修士論文審査委員会終了まで認めない。

第五章 修士論文審査

フローチャート



- 受理した学位論文の審査は、原則として、当該論文を受理した日から起算して6月以内に終了するものとする（札幌医科大学学位規程第7条 大学院履修概要11頁）。

1 修士論文審査委員会の設置と審査委員の選出

- (1) 審査委員は、保健医療学研究科の教授・准教授から2名以上、医学研究科・医療人育成センターの教授から1名以内の3名とする。但し、委員3名のうち2名以上を教授とし、准教授は1名以内とする。
- (2) 審査委員の選出は、運営会議の議を経て研究科委員会で決定する。
 - ①研究科運営会議および研究科委員会で審査委員候補者4名以上を選出する。
 - ②研究科委員会で上記①の中から投票により審査委員3名および次点を選出する。
- (3) 審査委員3名の互選により、主査1名を選任する。
- (4) 主任指導教員は審査委員会の開催日程を調整する。
- (5) 審査委員決定後4週間以内に審査委員会を開催する。

2 修士論文審査委員会

- (1) 修士論文審査委員会の開催は、学務課主査（大学院）を通じて学内に周知する。
- (2) 修士論文審査委員会は、論文内容および大学院学生の教育研究分野に関連する知識を審査する。
- (3) 修士論文審査委員会は、公開とする。

3 修士論文審査終了報告および審査結果報告

(1) 主査は修士論文の審査終了および審査結果を研究科長へ報告する。

「修士論文審査終了報告書」(様式5-2)

「論文審査の要旨及び担当者」(様式5-3)

(2) 修士論文に修正があった場合は、修正後の修士論文、修正部分ができるように網掛けした修士論文、修士論文の内容の要旨(様式4-3)、論文修正報告書(様式5-4)各1部と、修士論文、修士論文の内容の要旨(様式4-3)のデータが入ったCD-Rを学務課主査(大学院)に提出する。

また、英文に修正があった場合は再度ネイティブチェックを受け、証明書を添付する。

(3) 上記(1)および(2)を期限までに学務課主査(大学院)に提出する。

提出期限：9月修了希望者 8月第4水曜日まで

3月修了希望者 2月第2水曜日まで

4 修士論文の要旨等の公表

札幌医科大学学位規程第16条(大学院履修概要13頁)による。

Ⅲ 様式集

様式 1 - 1

教育研究分野希望届

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

専 攻 _____

学 年 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____

教育研究分野を次のとおり希望します。

教育研究分野	
--------	--

主任指導教員承認欄	⑩
-----------	---

教育研究分野変更願

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

専攻 _____

学年 _____

学籍番号 _____

氏名 _____

教育研究分野の変更を次のとおり許可願います。

現 教育研究分野	学 分 野
----------	-------

現 主任指導教員承認欄	㊞
-------------	---

新 教育研究分野	学 分 野
----------	-------

新 主任指導教員承認欄	㊞
-------------	---

専攻代表承認欄	㊞
---------	---

様式1-3 別記第1号様式

授業科目履修届

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

専 攻 _____

学 年 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____

次の科目を履修したいので届けます。

授 業 科 目	担当教員	単位数	開講時期	備考
			前期・後期・通年	
			前期・後期・通年	
			前期・後期・通年	
			前期・後期・通年	
			前期・後期・通年	

既修得単位認定申請書

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

専 攻 _____

学 年 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____

_____大学大学院で修得した単位のうち、次の科目について、札幌医科大学大学院において修得したものとして認定されるよう、関係書類を添えて申請いたします。

(関係書類)

- | | | |
|---|---------|-----|
| 1 | 履修証明書 | 1 通 |
| 2 | 単位修得証明書 | 1 通 |

記

(認定希望科目)

研究指導計画書

作成日 年 月 日

保健医療学研究科・博士課程(前期・後期)

専攻・分野・学籍番号

氏名 印

主任指導教員 印

		研究計画・研究指導計画		
年次		履修予定科目	研究計画／論文作成に向けて	その他の研究活動 (学会発表など)
1年次	前期			
	後期			
年次	前期			
	後期			
年次	前期			
	後期			

様式 1 - 6

副指導教員選考申請書

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

主任指導教員 _____ 印

研究指導のため、以下の者を副指導教員としたいので申請します。

氏名	
所属	
選考理由	

1 選任理由には、当該院生の氏名および研究概要を併せて記載すること。

様式 1 - 7

指導教員変更願・指導教員変更事項届出書

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

専攻

専攻代表

印

下記のとおり変更しますので、ご承認下さい。

変更する教員	<input type="checkbox"/> 主任指導教員
	<input type="checkbox"/> 副指導教員

院 生		学籍番号	専攻	学分野
【変更前】	指導教員	主任指導教員 代理主任指導教員	(所属・職) (氏 名)	
		副指導教員	(所属・職) (氏 名)	
		副指導教員	(所属・職) (氏 名)	
【変更後】	指導教員 (変更分のみ記入)	主任指導教員 代理主任指導教員	(所属・職) (氏 名)	
		副指導教員	(所属・職) (氏 名)	
		副指導教員	(所属・職) (氏 名)	
変更希望年月日		平成 年 月 日		
変更を必要とする理由				

様式2-1

博士論文・修士論文研究計画書審査願

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

専 攻 _____

教育研究分野 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____

博士論文・修士論文研究計画書を、次のとおり提出します。

論 文 題 目	
------------------	--

主任指導教員 _____ (印)

副指導教員 _____ (印)

副指導教員 _____ (印)

副指導教員 _____ (印)

副指導教員 _____ (印)

研究協力同意書（見本）

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科
研究代表者（主任指導教員）様

- * 研究データ収集協力者（対象者または児童の保護者）に対する研究の趣旨および内容を書面で説明した後に、次のような「同意書」を交換する。

私は次の 1 - 5 の事項について了承し、調査・研究について協力いたします。

- 1 本研究の目的と方法
- 2 予期される危険性
- 3 同意しない場合でも不利益を受けないこと
- 4 同意をいつでも撤回できること
- 5 その他のプライバシーの保護など被験者の人権に係る事項

（被験者、保護者又は代理人）

氏名 _____ (印)
住所 _____
電話： _____

研究実施者：札幌医科大学大学院保健医療学研究科
専攻 分野
院生名 北 海 太 郎
（連絡先）札幌市中央区北 3 条西 6 丁目
電話：

主任指導教員：札幌医科大学大学院保健医療学研究科
専攻 分野
教授 保 健 一 郎
（連絡先）札幌市中央区南 1 条西 17 丁目
電話：011-611-2111（内線1234）

様式3-1

博士論文・修士論文研究計画審査結果報告書

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院
保健医療学研究科長 様

審査委員

主査 _____ (印)

副主査 _____ (印)

副主査 _____ (印)

下記の博士論文・修士論文研究計画書審査結果について報告します。

記

研究計画書提出者（専攻） _____ (_____)

論文題目 _____

合 格 ・ 不 合 格

コメント

様式3-2

博士論文・修士論文研究計画書修正報告書

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院
保健医療学研究科長 様

専 攻

教育研究分野

氏 名

審査会においてご指摘いただきました以下の点について回答し、加筆・修正を致しましたのでご報告いたします（研究者が必要と判断した修正項目も含みます）。

論文題目： _____

指摘・意見 1：

< 審査会での指摘点を記入する。 >

回 答

< 上記に対する意見・見解および修正のポイントを記載する。修正箇所は、論文または計画書に網掛けで示す。以下、指摘・意見毎に表を挿入して記載すること。 >

様式3-3

博士論文・修士論文研究計画書判定結果

平成 年 月 日

様

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長

下記の博士論文・修士論文研究計画書の判定結果について報告します。

記

研究計画書提出者（専攻） _____（ _____ ）

論文題目 _____

判定

1 合格

2 不合格

博士論文・修士論文 審査願

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院
保健医療学研究科長 様

専 攻 _____

教育研究分野 _____

氏 名 _____ (印)

札幌医科大学学位規程第 4 条の規定により、博士論文・修士論文に所定の書類を添えて提出しますので、博士論文・修士論文の審査をお願いします。

論文題目：(和) _____

論文題目：(英) _____

主任指導教員 _____ (印)

副指導教員 _____ (印)

副指導教員 _____ (印)

副指導教員 _____ (印)

副指導教員 _____ (印)

提出書類一覧

博士論文・修士論文審査願(本紙)	1 部
①論文目録 (様式 4-2) ②博士論文・修士論文 ・表紙 ・目次 ・主文 ・図表 ・資料 (研究施設承諾書、研究協力同意書等の資料) ③博士論文・修士論文の要旨 (様式 4-3) ④履歴書 (様式 4-4) ⑤参考論文 ⑥審査結果通知書又の写しは承認申請書の写し (札幌医科大学倫理委員会)	博士論文：14 部 (①～⑥を組んだもの) 修士論文：12 部 (②③⑥を組んだもの)

博士論文・修士論文の内容の要旨

保健医療学研究科 博士課程後期・博士課程前期 専攻 教育研究分野	学籍番号 氏名
論文題目（和）	
論文題目（英）	
キーワード（5個以内）：	

- 1 論文内容の要旨は、研究目的・研究方法・研究結果・考察・結論等とし、簡潔に日本語で1,500字程度に要約すること。併せて英語要旨も日本語要旨と同様に作成すること。
- 2 2枚目からも外枠だけは必ず付けること。

履歴書（学外審査委員用）

ふりがな 氏名	性別	生 年 月 日 昭和 年 月 日
現住所	〒	
学歴		
年 月 日 卒業		
職歴		
主要な研究論文（著者名：題名. 雑誌名 巻 : 頁-頁, 西暦年号を記載のこと）		

※ 2枚目からも外枠だけは必ず付けること。

博士論文・修士論文審査終了報告書

平成 年 月 日開催の大学院保健医療学研究科委員会において
委嘱されました、院 生 氏 名
○ ○ ○ ○提出に係る博士論文・修士論文の審査は、
平成 年 月 日終了しましたので、報告いたします。

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

審査委員

主 査 _____ (印)

副主査 _____ (印)

副主査 _____ (印)

_____ (印)

_____ (印)

博士論文・修士論文審査の要旨及び担当者

報告番号	第 号	氏 名	
論文審査 担当者			

※報告番号につきましては、事務局が記入します。

様式5-4

博士論文・修士論文 修正報告書

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院
保健医療学研究科長 様

専 攻
教育研究分野
氏 名

審査会においてご指摘いただきました以下の点について回答し、加筆・修正を致しましたのでご報告いたします（研究者が必要と判断した修正項目も含みます）。

論文題目(和) : _____

論文題目(英) : _____

指摘・意見 1 :

<審査会での指摘点を記入する。>

回 答

<上記に対する意見・見解および修正のポイントを記載する。修正箇所は、論文または計画書に網掛けで示す。以下、指摘・意見毎に表を挿入して記載すること。>

博士論文のインターネット公表確認書

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

(ふりがな)

学位被授与者氏名 ㊟

次のとおり学位申請論文のインターネット公表(大学機関リポジトリ掲載)について、報告いたします。

記

学位の区分	課程・論文	学位の種類	博士(学)
学位授与年月日	平成 年 月 日(予定)		
論文題目			
全文公表について該当するものをチェックしてください	<input type="checkbox"/> 全文公表可能。(全文公表することに問題はありません) <input type="checkbox"/> 条件付きで全文公表可能(1年以内の全文公表可能の場合) <input type="checkbox"/> 平成 年 月 日以後、全文公表可能 <input type="checkbox"/> 著者校正版(査読前、査読後)の全文公表可能 <input type="checkbox"/> 全文公表不可(1年以上の全文公表が不可の場合) <input type="checkbox"/> インターネット公表ができない内容を含む <input type="checkbox"/> 学術誌や電子ジャーナルへ掲載又は掲載予定であり、出版社等の出版契約内容や公開基準によって、全文をインターネット公表できない <input type="checkbox"/> 特許申請中であり、博士論文の全文をインターネット公表することができない <input type="checkbox"/> その他、博士論文の全文をインターネット公表した場合、学位申請者に不利益を生じる ※不利益が生じる具体的理由を記載してください。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">()</div>		

(※注) やむを得ない理由により博士論文の全文を公表できない場合は、当該博士論文の全文に代えてその内容の要約したものを提出してください。なお、博士論文の要約は、「博士論文の内容の要旨(別記第6号様式)」と同じ内容でも構いませんが、タイトルを「博士論文の要約」として提出してください。

博士の学位に係る論文の全文公表に係る理由申出書

平成 年 月 日

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

博士論文
主査審査委員

㊞

次の博士の学位に係る論文につきましては、論文審査の結果、札幌医科大学学位規程第18条但し書きの規定に定める理由があると認められるので、御承認いただきたく申出書を提出します。

記

- 1 学位申請者及び学位論文
専攻
氏名
学籍番号
論文題目

- 2 全文公表できない理由 ※ 該当する項目をチェックしてください。

<p><input type="checkbox"/> インターネット公表ができない内容を含む</p> <p><input type="checkbox"/> 学術誌や電子ジャーナルへ掲載又は掲載予定であり、出版社等の出版契約内容や公開基準によって、全文をインターネット公表できない</p> <p><input type="checkbox"/> 特許申請中であり、博士論文の全文をインターネット公表することができない</p> <p><input type="checkbox"/> その他、博士論文の全文をインターネット公表した場合、学位申請者に不利益を生じる ※不利益が生じる具体的な理由を記載してください。</p> <p>()</p>

- 3 審査の結果
札幌医科大学学位規程第17条但し書きの「やむを得ない理由」
(有 ・ 無)

様式6-3

別記第15号様式(学位規程施行細則第8条第2項)

博 士 論 文 公 表 願

平成 年 月 日

札幌医科大学学長 様

氏 名 _____ ㊟

私が執筆した下記の論文について、札幌医科大学学術機関リポジトリにより公表をお願い致します。

なお、公表にあたっては、複製権・公衆送信権の利用について許諾します。

記

公表方法	全 文 ・ 要 約	公表時期 <small>(全文を直ちに公表できない場合に記載)</small>	年 月 日以降
姓 (漢字) <small>ふりがな</small>		名 (漢字) <small>ふりがな</small>	
姓 (ローマ字)		名 (ローマ字)	
論 文 題 目			
論文題目(英語)			
学位取得年月日	平成 年 月 日		
学 位 記 番 号	第 号		
学 位 の 種 類	医 学 ・ 看 護 学 ・ 作 業 療 法 学 ・ 理 学 療 法 学		
勤 務 先			
所 属 部 署			
住 所			
E - m a i l			
電 話 番 号 (内 線)			

(注) 1 「公表方法」及び「学位の種類」は該当するものを記載すること

2 学位を授与される前に提出する場合は、「学位取得年月日」、「学位記番号」の記載は不要であること。

別記第16号様式（学位規程施行細則第8条第2項）

（博士論文公表用表紙）



北海道公立大学法人
札幌医科大学
 Sapporo Medical University

SAPPORO MEDICAL UNIVERSITY INFORMATION AND KNOWLEDGE REPOSITORY

Title 論文題目	
Author(s) 著者	
Degree number ※ 学位記番号	
Degree name 学位の種別	
Issue Date 学位取得年月日	
Original Article 原著論文	
※ Doc URL	
※ DOI	
※ Resource Version	

- (注) 1 ※欄は、学務課又は附属総合情報センターで記入するので、記入しないこと。
 2 本様式は、博士論文の全文又は要約による公表のほか、本学が行う論文の内容の要旨及び審査の結果の要旨の公表を行う場合に使用するものとし、必要に応じて記載内容を編集して使用すること。
 3 本様式を提出後に、記載内容について変更が生じた場合は、変更後の本様式（電子データを含む。）を学務課に提出すること。

様式7

保健医療学研究科提出論文・研究計画書チェックリスト

学位論文記載要領にそったものであるかを確認のうえ、左欄にチェックし、論文または研究計画書と共に学務課に提出してください。

学籍番号

氏 名

著者チェック

- 本文は上質紙(再生紙も可)を用い、両面コピーしていますか (ただし、表紙の裏面は白紙)。

表紙に関して

- 「修士論文／博士論文」・「修士論文研究計画書／博士論文研究計画書」は右寄せ、12ポイント明朝体にしていますか。
- タイトルと名前は、日本語と英語(ローマ字)の両方を付けていますか。
- 日本語タイトルは16ポイント ゴシック体でセンタリングにしていますか。
- 英語タイトルは半角16ポイント ゴシック体でセンタリングにしていますか。
- 課程・分野は12ポイント 明朝体でセンタリングにしていますか。
- 名前は日本語とローマ字 12ポイント 明朝体でセンタリングにしていますか。

日本語論文の場合

- 40文字×30行、10.5ポイントにしていますか。
- 頁の本文下中央に、半角算用数字(例「- 5 -」)を用いて、通し番号で頁数を記載していますか。
- 目次を付けていますか。
- 章立て等の番号とタイトルはゴシック体文字とし、本文は明朝体としていますか。
- 章立て等は、左寄せで構成していますか。
- 各章の最終文が用紙の途中で終了した場合は、2行空けて次章を始めていますか。
- 引用文献と参考文献の記載は「札幌医科大学保健医療学研究科学位論文記載要領」の記載方法に準じていますか。
- 図表は末尾に添付し、A4判1枚以内に2種類までとなっていますか。
- 図表には図表番号が付いていますか。
- 図表のタイトルは図の場合は図の下中央、表の場合は表の上中央に付けていますか。
- 【論文提出時】 「論文の内容の要旨」の英文はネイティブチェックを受け、証明書を添付しましたか。

英語論文の場合

- マージンおよび頁の記載は、日本語論文に準じていますか。
- 行はダブルスペース、使用フォントはTimes New Roman、10.5ポイントになっていますか。
- chapter等は、太字ゴシック体となっていますか(本文文字体は自由)。
- 上記規定の他は、Handbook of American Psychological Associationに準じていますか。

保健医療学研究科 論文審査基準

博士課程前期、博士課程後期における達成水準を前提に、論文審査基準の各項目について達成状況を判断し、総合判定する。

【達成水準】

博士課程前期

当該研究の位置付けに基づき、専門領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を備えていると認められる。

博士課程後期

自立した研究者としての取り組み、研究の精度、独自性、発展性が認められ、看護学・理学療法学・作業療法学の発展に寄与・貢献するものである。

【論文審査基準】

- 1) 問題意識、研究目的、テーマが明確であるか
- 2) 研究テーマと論文内容の整合性がとれているか
- 3) 研究に独自性があるか
- 4) 研究の限界や今後の展望に言及しているか
- 5) 研究の全プロセスにおいて倫理的手続きが示され適切に実行されているか

保健医療学研究科 論文審査基準

専門看護師コース（課題研究論文）

博士課程前期（専門看護師コース）においては看護学課題研究による論文を審査対象とする。

専門看護師コースの達成水準を前提に、論文審査基準の各項目について達成状況を判断し、総合判定する。

【達成水準】

博士課程前期（専門看護師コース）

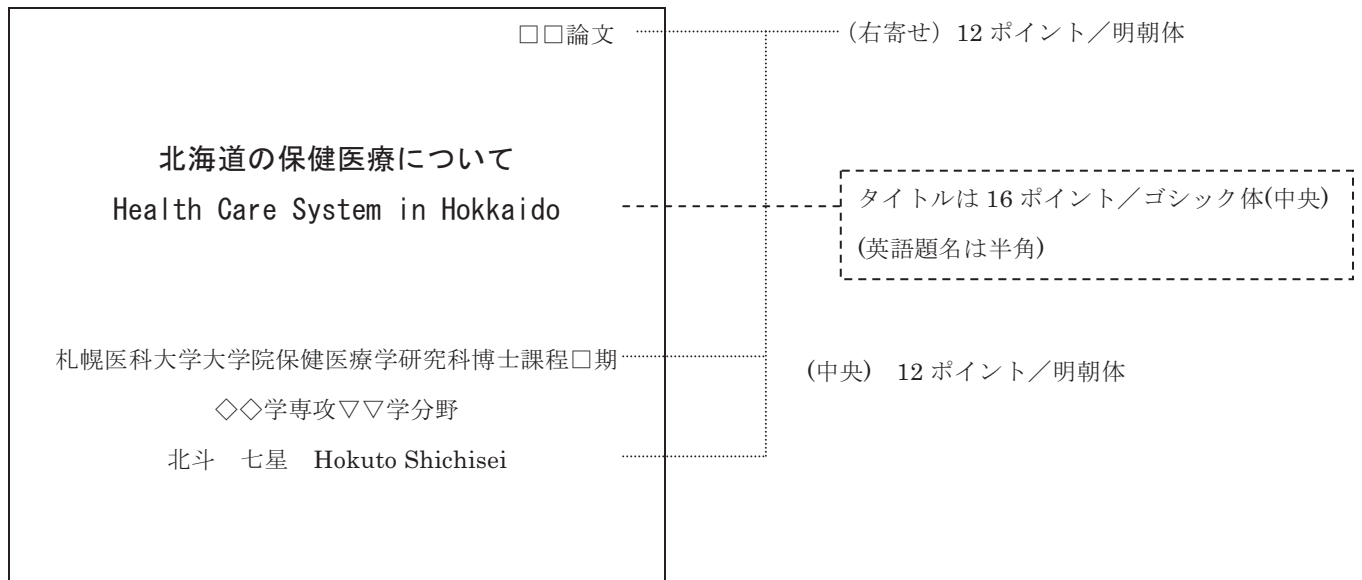
課題研究で作成した論文は看護実践における質の向上に寄与する研究テーマであり、専門領域において貢献をなす活動を将来独自で行えるための基礎的知識と基礎的技能を備えていると認められる。

【論文審査基準】

- 1) 問題意識、研究目的、テーマが明確であるか
- 2) 研究テーマと論文内容の整合性がとれているか
- 3) 看護実践の場において有用性が認められるか
- 4) 研究の限界や今後の展望に言及しているか
- 5) 研究の全プロセスにおいて倫理的手続きが示され適切に実行されているか

札幌医科大学大学院保健医療学研究科学位論文記載要領

- 1) 本文は上質紙(再生紙も可)を用い、両面コピーとする。(ただし、表紙の裏面は白紙)
- 2) 表紙は1)と同様の上質紙(再生紙も可)を用いる。
- 3) 表紙の体裁は以下のようにする。



「修士／博士論文研究計画書」、「修士／博士論文」は12ポイント/明朝体で右寄せとする。
 タイトルは16ポイント/ゴシック体で中央とする。
 名前は12ポイント/明朝体で中央とする。
 タイトルと名前は、日本語と英語(ローマ字)の両方を付ける。

4) 日本語論文の原稿様式について

- ① 40文字×30行、10.5ポイントとする。
 頁は、本文下中央に半角、算用数字(例「- 5 -」)で記載する。(図表、資料には不要)
- ② 必ず、目次を付けること。
- ③ 章立て等の番号とタイトルはゴシック体文字とし、本文は明朝体とする。
 章立て等は、左寄せで構成する。

例1

第3章 △△△△ 1 北海道の健康課題 1) 病気と健康イメージ 本研究は、

例2

(Ⅲ.) △△△△ (Ⅲ-1) 北海道の健康課題 (Ⅲ-1-1、Ⅲ-1-a) 病気と健康イメージ 本研究は、

- ④ 各章の最終文が用紙の途中で終了した場合は、2行空けて次章を始める。

⑤ 引用文献と参考文献の記載は以下のようにする。

- 1) 文献は、原則として本文中に附した引用番号順に記載する。但し、やむを得ない場合は、各専門領域の慣習に従うことを認める。
- 2) 著者名は3名までを記載し、それ以上は、「～他」、「et al.」とする。
- 3) ピリオド、コンマ、ハイフン、数字等は半角とする。
- 4) 引用文献の記載順序：

雑誌：

引用番号) 著者名：題名. 雑誌名巻：頁 - 頁, 西暦年

(例) 1) 安川揚子, 中井夏子, 田野英里香：東日本大震災の被災地における看護師の医療支援活動報告. 札幌医科大学札幌保健科学雑誌1：79-83, 2012

2) Walker J. M., Akinsanya J. A., Davis B, D., et al.: The nursing management of elderly patients with pain in the community: study and recommendations. *J. Adv. Nurs.* 15:1154-1161, 1990

単行本：

a. 引用番号) 著者名：書名. (巻). (版). 発行地, 発行所, 西暦年, p頁-頁

(例) 3) 秋山洋：手術基本手技. 東京, 医学書院, 1975, p57-76

4) Goligher J. C., Duthie H. L., Nixon H. H.: *Surgery of the anus rectum and colon.* London, Bailliere Tindall, 1980, p424-501

b. 引用番号) 著者名：分担項目名. 編者名. 書名. (巻). (版). 発行地, 発行所, 西暦年, p頁-頁

(例) 5) 小黒八七郎：大腸検査法の進歩. 小黒八七郎, 吉田成昭編. 大腸癌—診断と治療. 東京, 日本メディカルセンター, 1996, p69-78

6) Allen A., Hoskins A. C.: *Colonic mucus health and disease. (Diseases of the colon, rectum, and anal canal.)* Kirsner JB & Shorter RG ed. Rochester, Williams & Wilkins, 1988, p65-94

電子文献：

引用番号) 著者名：題名. 誌名. 西暦年, 巻数: 頁-頁. 媒体表示. 入手先の電子アドレス, (アクセス年月日)

(例) 7) 松原茂樹, 加藤芳秀, 江川誠二. 英文作成支援ツールとしての用例文検索システムESCORT. 情報管理. 2008: 251-259. doi:10.1241/johokanri.51.251. <http://joi.jlc.jst.go.jp/JST.JSTAGE/johokanri/51.251>, (2008-08-15)

8) Mabon, S. A., Misteli, T.: Differential recruitment of pre-mRNA splicing factors to alternatively spliced transcripts in vivo. *PLoS Biol.* 2005, 3: e374. doi:10.1371/journal.pbio.0030374. <http://biology.plosjournals.org/perlserv/?request=get-document&doi=10.1371/journal.pbio.0030374>, (2008-03-09).

9) 厚生労働省：C型肝炎について一般的なQ&A. 改訂第6版. 2006. <http://www.med.or.jp/kansen/bandc/cqa.pdf> (2007-10-26)

- ⑥ 図表には必ず図表番号を付し、末尾に添付すること。図表の大きさによっては A4 判 1 枚以内に 2 種類の図表を挿入することができる。

図表のタイトルは、図の場合は図の下中央、表の場合は表の上中央に付ける。

図表には、A4 判サイズ以外の用紙を用いない。

5) 英文の原稿様式について

- ① 以下 (②、③) の規定の他は、Handbook of American Psychological Association に準ずる。
- ② 行はダブルスペース、使用フォントは Times New Roman、10.5 ポイントとする。頁の記載は日本語原稿に準ずる。
- ③ chapter 等は、太字ゴシック体とする。本文文字体は自由。